

# 令和4年度浜田市決算状況をお知らせします

令和4年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が421億502万円（対前年度比0.6%減）、歳出決算額が407億497万円（対前年度比0.6%減）、翌年度へ繰り越す財源2億9,504万円を除いた実質収支で11億501万円の剰余金が生じました。少子高齢化の影響により、引き続き社会保障関係経費（扶助費）が高い水準で推移していることに加え、国際情勢による燃料や物価の高騰などの影響が見逃せない中で、財政運営は先行きが不透明な状況が続いています。今後も継続して行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

**歳入総額 421億502万円**

区分	決算額	具体的な内容
自主財源	市税	73億7,702万円
	分担金及び負担金	2億1,334万円
	使用料及び手数料	5億6,794万円
	繰入金	20億2,926万円
	その他	36億7,955万円
	地方譲与税	3億9,935万円
依存財源	地方交付税	128億9,380万円
	国県支出金	103億5,899万円
	地方債	29億7,105万円
	その他	16億1,472万円
	地方譲与税	3億9,935万円
	地方交付税	128億9,380万円

※4 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のこと  
 ※5 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のこと

## 令和4年度に実施した主な事業



高度衛生管理型荷捌所整備事業  
 (令和4年度事業費 18億2,927万円)

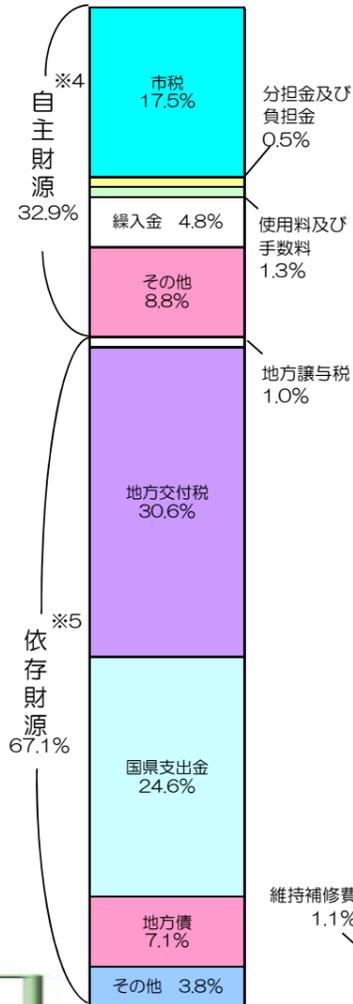


防災備蓄倉庫整備事業  
 (令和4年度事業費 4,550万円)

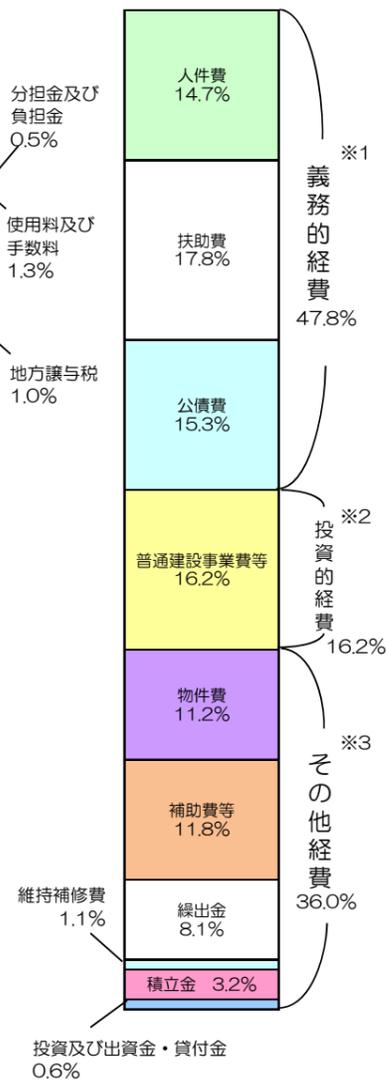
歳入歳出差引額 14億5万円

- 【内訳】
- ・翌年度繰越金 2億9,504万円…令和5年度に延長して行う事業に充てられます。
  - ・剰余金 11億501万円…「財政調整基金」に積み立てるほか翌年度の自主財源として活用します。

## 【歳入】



## 【歳出】



**歳出総額 407億497万円**

区分	決算額	具体的な内容
義務的経費	人件費	59億6,930万円
	扶助費	72億5,855万円
	公債費	62億3,199万円
投資的経費	普通建設事業費等	65億9,425万円
	物件費	45億6,414万円
その他経費	補助費等	47億8,986万円
	繰入金	32億9,800万円
	維持補修費	4億4,266万円
	積立金	13億2,475万円
	投資及び出資金・貸付金	2億3,147万円

※1 義務的経費：歳出のうち支出が義務付けられ、任意に節減ができない経費  
 ※2 投資的経費：道路・学校・公園・市営住宅の建設など、社会資本の整備などに使う経費  
 ※3 その他経費：特別会計への繰入金や補助費のほか物件費など、通常の行政活動を支える経費

## 浜田市の財政指数

指数名	内容	令和4年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合	—	12.46%	20.00%
連結実質率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合	—	17.46%	30.00%
実質公債費率比(3年平均)	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合	10.8%	25.0%	35.0%
将来負担率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合	20.9%	350.0%	—

## 特別会計・公営企業会計

浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計が6あります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の公営企業会計があります。

### ■特別会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険	5,895,022	5,869,255	25,767
事業勘定	238,203	238,203	0
直診勘定	24,400	20,670	3,730
駐車場事業	615,799	615,639	160
農業集落排水事業	32,031	32,024	7
漁業集落排水事業	55,625	55,556	69
生活排水処理事業	947,339	925,401	21,938
後期高齢者医療			

### ■公営企業会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
水道事業	1,969,513	1,758,755	210,758
収益的収支	822,186	1,613,133	△790,947
資本的収支	135,165	125,723	9,442
工業用水道事業	2,792	7,897	△5,105
資本的収支	507,671	498,601	9,070
収益的収支	378,880	605,622	△226,742
資本的収支			

※資本的収支の不足額は当年度損益勘定留保資金等で補っています。

### 主な会計の状況

項目	本市	県内平均
国民健康保険特別会計		
被保険者数(年間平均)	9,194人	6,293人
一人当たり医療費	528,530円	490,264円

項目	令和4年度	対前年度比
水道事業会計		
年度末給水人口	49,133人	98.3%
年間配水量(①)	7,862.67km <sup>3</sup>	99.4%
年間有収水量(②)	5,992.46km <sup>3</sup>	96.6%
有収率②/①×100	76.2%	2.2ポイント減

項目	令和4年度	対前年度比
公共下水道事業会計		
年度末接続済人口	5,597人	98.0%
下水道普及率	14.3%	0.1ポイント増
年間有収水量	573,577m <sup>3</sup>	91.0%
1日平均処理水量	1,572m <sup>3</sup>	91.6%

## 浜田さん家の1か月分の家計簿を見てみましょう

※決算額(一般会計)を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風に見てみると…

収入	市の性質別区分	金額	支出	市の性質別区分	金額
給料	市税	6万1千円	食費	人件費	5万円
家賃収入	使用料及び手数料など	3万7千円	医療費・保育料など	扶助費	6万円
預金の取崩し	繰入金	1万7千円	ローンの返済金	公債費	5万2千円
親からの援助	地方交付税・地方譲与税など	12万4千円	家の増築費・新車購入	普通建設費・災害復旧費	5万5千円
兄弟からの援助	国県支出金	8万6千円	光熱水費・日用雑貨代	物件費	3万8千円
借入金	地方債	2万5千円	町内会費・ご祝儀など	補助費等	4万円
	収入合計	35万円	子どもへの仕送り	繰入金	2万7千円
			定期預金	積立金	1万1千円
			家や車の修理代・友人へ貸したお金	維持補修費・投資及び出資金・貸付金	6千円
			支出合計		33万9千円

収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約1万1千円、1年で約14万円となりました。そのうち、約3万円は翌年度に使うこととし、残った約11万円は『財政調整基金』銀行への預金などを行います。